

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、9～19℃台を示し、平年並みの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網——シケの為、出漁日数が少なかった。西彼地区では、ゴマサバなどが1日1統当たり8トンの水揚げで、前週の1.6倍（前年を上回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり11トンの水揚げ（前年を上回った）。北松南部地区では、マアジなどが1日1統当たり12トンの水揚げで、前週の1.3倍（前年並み）。
- イカ釣——スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり24kgの水揚げで、前週の26%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では1日当たり291kgの水揚げで、前週の1.5倍（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり2kgの水揚げで、前週の67%（前年を上回った）。五島奈留地区では1日1統当たり1kgの水揚げで、前週の33%（前年を下回った）。
- 定置網——五島有川地区では、マアジなどが1日1統当たり63kgの水揚げ。五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり1トンの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり58kgの水揚げ。対馬東岸地区では、スルメイカなどが1日1統当たり229kgの水揚げ。
- 一本釣——北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり49kgの水揚げで、前週の1.4倍（前年並み）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（2/9～2/14の6日間）沖合イカ釣（船凍船）は、対馬沖周辺で操業。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐諸島周辺～山形沖で操業。鳥取県西部（沖合船）入港船なし。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第5-3号 6県ケンサキイカ情報（令和4年度 第8号）」を公表しました。漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>